

令和 4 年 3 月 24 日

当院に通院中または通院歴がある患者さん・ご家族様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたまたはご家族の情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】平成 24 年 1 月～平成 30 年 12 月の間に、以下に示す薬剤（配合錠）と、それに相当する成分を単剤で処方された患者さま

降圧薬配合錠

配合錠 (単剤 A と単剤 B から 各 1 種類を含む)	単剤 A	単剤 B
アイミクス	イルベサルタン	アムロジピン
	アバプロ	アムロジン
	イルベタン	ノルバスク
アテディオ	バルサルタン	シルニジピン
	ディオバン	アテレック
エックスフォージ	バルサルタン	アムロジピン
	ディオバン	アムロジン
		ノルバスク
ザクラス	アジルサルタン	アムロジピン
	アジルバ	アムロジン
		ノルバスク
ミカムロ もしくは テラムロ	テルミサルタン	アムロジピン
	ミカルディス	アムロジン
		ノルバスク

配合錠 (単剤 A と単剤 B から 各 1 種類を含む)	単剤 A	単剤 B
ユニシア	カンデサルタン	アムロジピン
	プロプレス	アムロジン
		ノルバスク
レザルタス	オルメサルタン	アゼルニジピン
	オルメテック	カルブブロック
イルトラ	イルベサルタン	トリクロルメチアジド
	アバプロ	フルイトラン
	イルベタン	
エカード	<u>カンデサルタン</u>	<u>ヒドロクロロチアジド</u>
	<u>プロプレス</u>	
コディオ	バルサルタン	ヒドロクロロチアジド
	ディオバン	
プレミネント もしくは ロサルヒド	ロサルタンカリウム	ヒドロクロロチアジド
	ニューロタン	
ミコンビ もしくは テルチア	テルミサルタン	ヒドロクロロチアジド
	ミカルディス	
カデュエット	アムロジピン	アトルバスタチン
	アムロジン	リピトール
	ノルバスク	

配合錠 (単剤 A と単剤 B と 単剤 C から各 1 種類を含む)	単剤 A	単剤 B	単剤 C
ミカトリオ	テルミサルタン	アムロジピン	ヒドロクロロチアジド
	ミカルディス	アムロジン	
		ノルバスク	

脂質異常症治療薬配合錠

配合錠 (単剤 A と単剤 B から 各 1 種類を含む)	単剤 A	単剤 B
アトーゼット	エゼチミブ	アトルバスタチン
	ゼチーア	リピトール

糖尿病薬配合錠

配合錠 (単剤 A と単剤 B から 各 1 種類を含む)	単剤 A	単剤 B
イニシンク	アログリプチン	メトホルミン
	ネシーナ	メトグルコ
		グリコラン
		メルビン
エクメット	ビルダグリプチン	メトホルミン
	エクア	メトグルコ
		グリコラン
		メルビン
カナリア	テネリグリプチン	カナグリフロジン
	テネリア	カナグル
グルベス	ミチグリニド	ボグリボース
	グルファスト	ベイスン
スージャヌ	シタグリプチン	イブラグリフロジン
	グラクティブ	スーグラ
	ジャヌビア	
ソニアス	ピオグリタゾン	グリメピリド
	アクトス	アマリール
メタクト	ピオグリタゾン	メトホルミン
	アクトス	メトグルコ
		グリコラン
		メルビン
リオベル	アログリプチン	ピオグリタゾン
	ネシーナ	アクトス

抗血小板薬配合錠

配合錠 (単剤 A と単剤 B から 各 1 種類を含む)	単剤 A	単剤 B
タケルダ	アスピリン	ランソプラゾール
	バイアスピリン	タケプロン
	バファリン	タイプロトン
	アスファネート	タピゾール
	クレインチェ	
	ゼンアスピリン	
	ニトギス	
	バッサミン	
	ファモター	
コンプラビン	アスピリン	クロピドグレル
	バイアスピリン	プラビックス
	バファリン	
	アスファネート	
	クレインチェ	
	ゼンアスピリン	
	ニトギス	
	バッサミン	
	ファモター	

【研究課題名】慢性疾患に対する薬物療法時の配合錠使用に関する薬学的評価

【研究責任者】薬剤部 副薬剤部長 上野 智子

【研究の目的】当院において高血圧、糖尿病、脂質異常症等の慢性疾患患者ならびに狭心症・心筋梗塞後等で抗血小板治療が実施されている患者さまのうち、配合剤が処方された患者さまを対象に、症状の安定性、服薬アドヒアランス率（飲み忘れ等で処方日数調整を必要とした割合）、心・脳血管イベント発生率ならびに配合剤使用の経済性について評価することを目的としています。

【利用するカルテ情報・資料】

年齢、性別、身長、体重、現病歴、既往歴、処方薬剤および処方量、処方期間、体温、収縮期血圧、拡張期血圧、脈拍及び呼吸数、血液検査値、一般尿

【研究期間】倫理委員会承認日～2025年3月31日（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 薬剤部

副薬剤部長 上野 智子

電話 06-6170-1070(代表)

内線 (40131)